

工場見学&住宅端材を使ったエコクラフト体験
鯨の木工教室“木の器を作るワークショップ（3/29土曜日）”開催

社寺建築や数寄屋建築の経験のある大工を中心に「木の家づくり」に取り組む、鯨組-なまzugumi-（本社：東京都豊島区、代表：岸本耕）は、2014年3月29日（土）鯨の木工教室“木の器を作るワークショップ”を開催いたします。建築現場では産業廃棄物が日々排出され、処理には年間150万円（鯨組試算）程の費用がかかります。その中に含まれる“木の端材”を利用して、地域の方に向けたイベントを考えました。通常は捨ててしまう“端材”をコミュニケーションツールとして使用し、大工と実際に触れ合う機会を作ることで、大工という仕事の理解促進につなげます。当日は鯨組の運営するカフェ、なんてん cafe が工場に出張してまいります。大工・なんてん cafe という鯨組の特徴的な要素を一日で体験していただくことで、私たちの会社への理解を深めていただくことが狙いです。是非、イベント情報の掲載・取材をお願いいたします。

■イベント概要と参加方法

日時：2014年3月29日（土）10:00-14:00※休憩時間1時間

場所：鯨組草加工場（埼玉県草加市谷塚町1320-3）

対象：小学生以上

※小学生以下のお子様は必ず保護者付き添いのもと
 体験していただきます。

参加費：1家族1,000円

持ち物：お弁当・飲み物・軍手・タオル・汚れても良い服装

参加方法：鯨組大石真理子までお申し込みください。

お電話 03-5986-1081/メール office@yoshikawano-namazu.com

【イメージ写真】



■建築と食のコラボレーション、イベント当日は出張カフェも行います。

建築の材料として使うには短すぎる使えない木片を端材と呼び、ほとんど全てを廃棄しています。鯨組はこういった端材をうまく活用し、生活の中にできる限り活かすことができないかと考え、この食器にたどり着きました。イベント当日は、鯨組が運営する“なんてん cafe”が工場に出張。焼菓子とコーヒーの販売を致します。

■仕様と用途

正方形または長方形のシンプルな加工の木のプレートを作ります。用途を限定しないデザインですので、菓子器・コースター・取り皿としてなど幅広く使用できます。この食器は、鯨組が運営するカフェ「なんてん cafe」でも実際に使用されています。参加する方の今後のメンテナンスの手軽さや、口にする際の安全性を考慮し、仕上げはオリーブオイルで磨きます。

《会社概要》

設計から大工まで



【なまzugumi】

鯨組（株式会社吉川の鯨）

TEL：03-5986-1081 FAX03-5986-1082 E-Mail：office@yoshikawano-namazu.com

〒171-0043 東京都豊島区要町1-10-7 2F

建築士事務所登録番号：東京都知事 登録（第14883号） 一般建設業許可番号：東京都知事 許可（般-21）第132530号

代表：岸本 耕（大工棟梁）

本件に関するお問い合わせ：広報担当 大石真理子

電話 03-5986-1081 メール office@yoshikawano-namazu.com